

【研究概要】

弾性線維形成タンパク質である LTBP2, 4 (潜在型 TGF β 結合蛋白質 2, 4) および Fibulin4, 5 の体内量の加齢性変化を解析する。本研究では小児、壮年、高齢の患者を対象として、血中濃度、組織(皮膚)発現量を測定し加齢に伴う変動を解析する。また、弾性線維形成不全関連疾患(肺気腫など)や生活習慣病(高血圧、糖尿病、高脂血症)の患者試料についても調べ、疾患と弾性線維形成タンパク質含有量との関連性を検討する。